

I 平成28年度 事業計画

1. 基本方針

2009年（平成21年）開所した「介助犬総合訓練センター シンシアの丘」は、皆様に支え続けていただき8年目を迎えました。2015年（平成27年）秋には、秋篠宮同妃両殿下がシンシアの丘にお出まし頂く光栄に預かることができた記念すべき年となりました。ひとえに皆様からのご支援の賜物と厚く感謝申し上げますとともにこれまでの努力が報われた想いがあります。

秋篠宮殿下は、とても犬がお好き、かつお詳しく、繁殖のことや適性評価のことなどを熱心に質問なさっておられました。秋篠宮妃殿下は、ユーザーさんと介助犬に「東京から参りました秋篠宮紀子と申します。」とご挨拶される場面があり、皆そのお人柄に触れてとても温かい気持ちになりました。

また沖縄県初の介助犬育成にも取り組み、石垣島に新たなペアが誕生したことは、沖縄県内で大きく報道して頂く事が出来ました。これで当協会の介助犬ペアは、北は北海道、南は石垣島で活躍するところとなり、益々の全国への普及に励まなくてはと気を引き締める所存です。

とはいえ、社会福祉法等が大きく改正されるなか、当協会を取り巻く環境も変わり、ご寄付を募ることが年々厳しくなる社会情勢下にあります。

これまで通りの努力では、運営体制は厳しくなると思っております。創意工夫、新しい発想による事業への取り組みを考え、事業発展に寄与するべく、役職員一同一丸となって取り組む所存であります。

今後とも引き続きの、そして新しい発想に満ちたご提案やご指導を賜りますよう切にお願い申し上げます。



理事長 大島慶久

[主な取組み]

1. 良質な介助犬の育成・普及
2. 介助犬の認知度を高める取組み
3. 事業基盤の確立への取組み



(秋篠宮殿下妃殿下ご来訪の写真)



日時:2016年5月21日(土) 10:00~16:00

場所:愛・地球博記念公園 (モリコロパーク) 地球市民交流センター(愛知県長久手市)

2. 取組事項

1. 介助犬訓練

リハビリテーション専門職と連携を図り、介助犬希望者に対して個々の障がいにあった介助犬を提供する。介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～での体験・合同訓練および在宅訓練の指導を行う。

(1) 肢体不自由者に対する介助犬貸与

介助犬を育成し、2～4名の肢体不自由者に対し介助犬の貸与を実施する。

(2) 犬の飼育及び訓練

① 37頭の候補犬に対し、評価及び訓練を実施する。

② パピーに対する訓練及びパピーホームボランティアに対して飼育指導を行う。

(3) 繁殖、パピー、候補犬としての成犬の導入

① 繁殖犬5頭から25～30頭のパピーを確保する。また、国内外の補助犬育成団体より2～5頭のパピー及び成犬を購入する。

② オーストラリア、スウェーデン、ハワイ等の補助犬育成事業者から情報収集し、候補犬(成犬)導入のため訪問する。

(4) 介助犬使用者に対する継続指導

① 介助犬使用者25名に対し、継続指導を行う。

② 「使用者の集い」11月5日(土)～6日(日)に関東にて開催し、使用者に対する勉強会を実施する。

使用者による引退式の企画、協会による開催を実施する。

(5) 介助犬使用者に対する就労支援

介助犬使用者の就労希望に対し、就労支援機関と連携を取りながら個々に合わせた就労支援を行う。

2. 人材育成・研修

訓練部職員の技術向上、合同訓練体制の確立に取り組む。また、外部研修等へ職員を派遣する。

(1) 訓練技術向上

飼育管理担当者、パピー担当者等のすべての訓練部職員がOJTにより犬のハンドリング技術の向上を目指す。また、目指すゴールの明確化、訓練犬の評価方法の共有化を図り、訓練技術向上に努める。

① 合同訓練担当者の育成

合同訓練を担える職員を1名養成する。

② 介助犬訓練士研修生の養成

第11期研修生3名に対し、介助犬の育成・普及活動に関わる人材として養成する。また第12期研修生を募集する。

(2) 研修

- ① リハビリテーションセンター(名古屋市・横浜市)への研修派遣
- ② スウェーデン補助犬訓練事業者への研修派遣
- ③ ファンドレイジング協会のセミナーに広報部職員の派遣
- ④ 海外からの講師招聘

3. 相談・指導助言

介助犬希望者がより正確な情報を得られるように、体験会・相談会、体験入所等のプログラムの充実を図る。

(1) 介助犬希望者への更生相談

- ① 介助犬に関心のある障がい者を対象に、毎月の見学会に合わせて相談会を実施する。その他体験会をセンターで1回、本部で2回開催する。体験会での相談会同時開催。見学会と体験会および体験入所の同時開催。
- ② 半年後に合同訓練開始候補者の方を対象に、4月と10月に体験入所を実施する。その他必要に応じて実施する。

4. 補助犬関係団体協力

良質な介助犬を育成するため、補助犬関係団体と訓練犬確保、繁殖情報の交換や繁殖協力関係の強化を図る。また、介助犬及び身体障害者補助犬法の認知度向上のため、情報機関等との連携を強化する。

(1) 補助犬育成団体との連携強化

日本盲導犬協会、北海道盲導犬協会、中部盲導犬協会、関西盲導犬協会、九州盲導犬協会、兵庫介助犬協会等との繁殖、子犬の導入、研修先としての協力関係を強化する。

(2) 諸外国の補助犬団体との連携強化

諸外国の補助犬団体と、介助犬の育成や繁殖事業に関する交流を充実させる。

- ① ADI(Assistance Dog International)の認定申請を行い、ADIに加盟している諸外国の補助犬育成団体と積極的に情報交換を行う。また、5月15日～17日にプラハで行われるADIカンファレンスに職員1名を派遣する。
- ② クイーンズランド盲導犬協会(オーストラリア)、Kyno-Logisch(スウェーデンの盲導犬育成事業者)、Assistance Dogs of Hawaii(ハワイ)と犬の導入についての情報交換を行い、候補犬導入へ向けて育成事業者等を訪問する。
- ③ 日本身体障害者補助犬学会への協力
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて「補助犬受け入れ/車椅子受け入れセミナー」開催への協力をする。

5. 調査研究

障がい者が介助犬等との生活をより円滑に送るための研究調査を行う。

(1) 日本身体障害者補助犬学会への参加

学会団体会員に加盟し一般演題発表を行う。

(2) リハ専門職等との補助具の開発

横浜市総合リハビリテーションセンター等のリハビリテーション工学士と介助犬使用に関する補助具の研究を行う。

(3) 肢体不自由者のニーズ調査

- ・ バリアフリー展 : 4月21日(木)～23日(土) 開催 (インテックス大阪)
- ・ ウェルフェア : 6月2日(木)～4日(土) 開催 (ポートメッセ名古屋)
- ・ ヨコハマヒューマンテックノラント : 7月29日(金)～30日(土) 開催 (パシフィコ横浜)
- ・ 国際福祉機器展 : 10月12日(水)～14日(金) 開催 (国際展示場)

6. 地域公益活動

動物介在活動(AAA)・動物介在療法(AAT)への貢献

(1) 動物介在療法として聖マリアンナ医科大学病院へ貸与した勤務犬についてハンドラー医師・看護師へのハンドリング指導を継続的に行う。

(2) 障がい者、障がい児に対して、自宅で役立つキャリアチェンジ犬の譲渡を行う。

(3) 長期療養患者、被虐待児童、社会適応障害児童等に対する AAA /AAT 導入に対する検討、監修および実施協力

(4) 障害者向けしつけ教室開催に向けての検討

(5) 家庭犬飼育の質の向上を目指し、キャリアチェンジ犬引き取りボランティアに対して交流会を開催し、飼育指導を行う。

7. 普及啓発

介助犬および補助犬法の認知度が低いという課題に対して、対面での普及啓発を広く展開する。また、訓練犬受け入れについて交通機関、飲食店、店舗、ホテル等に交渉し、訓練犬受け入れについての理解を深める要請を広げる。

(1) 普及啓発イベント・講演会の開催

① 介助犬フェスタ2016の開催 5月21日(土)

介助犬への認知度向上および希望者・支援者の増加を目的として実施する。

② 地域に根ざしたイベントの開催

・介助犬総合訓練センター

一般見学会 : 毎月第2土曜日(5月、3月を除く)

子供向け見学会 : 7月26日(火)

オープンハウス : 3月4日(土)もしくは5日(日)

団体見学受入れ等 : 年50件

・本部

介助犬教室 : 8月6日(土)、8月7日(日)

介助犬夏休みイベント : 8月21日(日)

③ はたらくワンワンランドの開催

「ガンバレ！介助犬！JA共済はたらくワンワンランド」を通じて、全国で障がい者を支える介助犬を紹介する福祉教育活動を展開する。

④ リハビリテーション専門職向けセミナー の開催

リハビリテーション専門職へ向け、介助犬の正確な情報を提供し、理解を深めてもらえる機会としてセミナーを開催する。ブース設置可の学会との同時開催を図る。

⑤ イベント・講演会の受入れ

支援企業、小中学校はじめ各団体よりイベント・講演会の依頼を受け、職員・PR 犬の派遣を行う。

(2) 介助犬デモンストレーター養成の実施

「介助犬デモンストレーター養成講座」を開催し、介助犬普及・啓発活動を担うボランティアの養成を行う。

・センター： 初級1クール(7月開催)、中級(毎月1回の中級セミナーの実施)

・本部 : 毎月1回の中級(練習)の実施、2月初級1クールもしくは中級講座の実施

(3) 普及啓発街頭活動

本部およびセンター近郊で地元根付いた啓発を行うため月1回以上の街頭活動を実施する。また、公益財団法人日本盲導犬協会との合同での街頭募金活動も実施する。小学校・中学校・スカウト隊・慈善団体等主催の街頭活動についても協力参加する。

訓練犬のパブリック訓練と街頭活動を兼ねるなど効率化を図る。

(4) 募金箱の設置

介助犬の認知度向上のため、新規設置店の拡大に取り組む。特に医療機関への募金箱設置を重点項目に置く。

(5) PR犬の育成・訓練の実施

介助犬啓発活動に参加するPR犬の作業力維持、並びに広報部職員の技能向上のためのトレーニングを定期的実施する。訓練部と連携し、介助犬啓発活動に参加する新規PR犬を含めたPR犬の育成・訓練のためPR犬ミーティングを定期的に行う。

(6) ボランティアの確保

介助犬訓練・啓発に係るボランティアの確保を行う。年4回の交流会を実施する。

(7) 賛助会員の新規入会促進と継続支援者の確保

会報やイベントを通して会員とのコミュニケーションを図る。法人会員については、定期的に訪問する。CSR冊子、ホームページの改訂を行う。

(8) 『ほじょ犬の日』5月22日(日)に向け、普及啓発イベント・講演会において積極的にPR活動を行う。

8. 広報活動

介助犬、補助犬、身体障害者補助犬法などについて、介助犬希望者・個人支援者・支援団体企業等、対象者別に必要な情報提供に努める。

(1) マスコミ対応

新聞やテレビ番組などのメディアに迅速に対応するため、最新の映像制作や写真撮影を行い提供していく。

(2) 広報物の作成

リーフレット・ポスター等広報物作成を行い、広く配布・掲示する。各企業の広報紙、機関誌などへ提供する写真の種類の充実を図る。

(3) 会報・ホームページの制作

委員会を設置し魅力ある紙面およびホームページづくりに取り組む。

目的を絞り訪問者に分かりやすくする。特に寄付につながるホームページを制作する。

(4) ツイッター・フェイスブック等の SNS やソーシャルグッドの活用

ツイッター・フェイスブック等の情報発信の充実を図る。また、社会貢献活動を支援・促進する取組みをインターネット上で展開する「ソーシャルグッド」を活用し、新たな支援者獲得を目指す。

(5) リハビリテーション専門関連学会、獣医療関連学会へのブース出展等

介助犬適応者に対する処方や紹介が出来るリハ専門職への理解を深め、希望者・利用者へのリハ支援の連携に不可欠である専門職への理解を深めるためにブース出展、デモンストラーション等の機会を得る。

【2016 年度学会一覧】

2016 年 2 月 16 日現在

学会名	日程	開催地
日本理学療法学会	2016 年 5 月 27 日(金)～5 月 29 日(日)	札幌コンベンションセンター他(北海道)
日本リハビリテーション医学会学術集会	2016 年 6 月 9 日(木)～11 日(土)	新国立京都国際会館(京都府)
日本作業療法学会	2016 年 9 月 9 日(金)～11 日(日)	ロイトン札幌他(北海道)
日本義肢装具学会	2016 年 10 月 15 日(土)、16 日(日)	札幌コンベンションセンター(北海道)
日本リハビリテーション医学会専門医会	2016 年 10 月 29 日(土)、30 日(日)	金沢市文化ホール(石川県)
日本脊髄障害医学会	2016 年 11 月 10 日(木)～11 日(金)	幕張メッセ(千葉県)

◆上記以外の学会

神奈川県作業療法学会	2015 年 4 月 19 日(日)	神奈川県
身体障害者補助犬学会	2016 年	神戸市ニチイ学館(兵庫県)
国立大学リハビリテーション療法士学術大会	2015 年 10 月 31 日(土)	東京都
愛知県作業療法士学会	2105 年 5 月 23 日(土)、24 日(日)	愛知県
リハビリテーション民間企業合同学会	2015 年 11 月 29 日(日)	兵庫県
第 3 回慢性期リハビリテーション学会	2016 年 2 月 27 日(土)、28 日(日)	兵庫県
日本臨床獣医学フォーラム	2016 年 9 月 23 日(金)～25 日(日)	ホテルニューオータニ(東京都)

(6) スポーツとのコラボレーション

巨人軍菅野投手、名古屋グランパス、名古屋オーシャンズとのコラボレーションによる介助犬認知度向上および支援者獲得に取り組む。

(7) リニモ駅長の育成

リニモ駅長交代式と四代目駅長を育成する。

9. 補助・助成申請

(1) 平成 28 年度事業

助成決定事業

① 全国生活協同組合連合会:300 万円

申請事業:身体障害者のための介助犬普及・啓発事業
～介助犬使用者の不在地域で情報を提供するためのネット用動画作成～

② 毎日新聞大阪社会事業団(シンシア基金):30 万円

申請事業:補助犬に関わるボランティア教育・育成講座

申請中事業

① 愛知共同募金会:52 万円

申請事業:センター防災対策のための施設整備

② 日本郵政年賀寄付金配分:285 万円

申請事業:介助犬希望者・使用者の送迎のための福祉車両更改事業

申請予定事業

① 在日米国商工会議所:40 万円

申請事業:オーストラリア・ハワイ等からの犬の導入

② 愛知県:10 万円

申請事業:愛知県内における介助犬啓発事業

③ 長久手市:30 万円

申請事業:介助犬広報啓発事業

(2) 平成 29 年度事業

- ・介助犬総合訓練センターの施設改修や機器整備(PC)、車両買い替えの為の申請
- ・海外補助犬団体とのネットワーク構築のための渡航費用や海外研修費等の申請
- ・海外からの講師招聘費用の申請
- ・リハビリテーション専門職向けセミナーおよび体験会・体験入所開催のための費用申請

10. 総務管理・運営

(1) 理事会・評議員会の開催

定款に定める理事会・評議員会を開催し、定款施行細則に定める議決事項等に基づき適正な運営に努める。

(2) 社会福祉法等の改正

第190回国会で社会福祉法改正が成立し、厚生労働省令等が示される見通しより、10月評議員会及び理事会にて定款変更手続きを行う。

- (3) 全体会議・研修会の開催
 - ・全職員集合し、全体会議(前期:10月21日(金)、後期3月10日(金))を開催する。
 - ・外部講師を導入し、人材育成に取り組む。
- (4) 個人情報保護体制の整備
 - マイナンバー制度の運用に伴い、特定個人情報取扱規程等の制定に取り組む。
- (5) 資金の積立て
 - センターの長期修繕計画に基づく、施設設備資金および増築資金の積立てに取り組む。
 - 介助犬総合訓練センター施設修繕整備、増築等のための資金積立てに取り組む。
- (6) 苦情解決への取組み
 - 社会福祉法第82条に定める福祉サービスに関する苦情解決体制について、HP・施設内に第三者委員、苦情解決責任者・苦情受付担当者を公表し周知する。
- (7) 防災訓練
 - 消防計画に基づいて、本部・センター毎に防災訓練(年2回)を実施する。